

肥満抑制ヒトに効果

スタチの果皮から抽出したエキスを、内臓脂肪を低減させる作用があると分かった。スタチ果皮には抗肥満作用があるといわれる成分「スタチチン」が含まれており、徳島大大学院の阪上浩教授と堤理恵講師（ともに代謝栄養学）、医薬品・医薬部外品製造販売の池田薬草（三好市）が臨床試験でヒトへの効果を初めて確認した。阪上教授らは「廃棄されることの多いスタチ果皮の有効活用につながる」としている。

池田薬草と徳大確認



池田薬草が発売したスタチチン含有サプリメント

スタチ果皮の成分「スタチチン」

サプリメント 機能性食品化へ

臨床試験は31〜60歳の標準体重以上の男女20人（平均46・5歳）に、スタチ果皮エキスの粉末を含むカプセル剤を1日4個、普段の生活をしながら12週間摂取してもらった。1日当たりの摂取量はエキスの粉末が計350粒で、うちスタチチンは4・9粒。その結果、腹囲が平均約1センチ減り、コンピューター断層撮影（CT）検査では内臓脂肪の面積が平均2・4平方センチ減少。脂質の代謝を改善する効果が認められた。スタチチンは、ポリフェノールの一種。1962年に堀江徳愛徳島大教授（当時）が発見した。抗糖尿病作用などが確認されている沖繩産かんきつのシークワーサーに含まれる「ノビレチン」と構造が似ている。2011年度に徳島大大学院と県立工業技術センターの研究グループが肥満マウ

スや2型糖尿病（生活習慣型）マウスを用いて実験。体重増加の抑制や中性脂肪量の低下などの効果を確認し、14年に論文発表した。今回の試験は、県事業「とくしま新未来雇用創造プロジェクト」を活用し、池田薬草が特定NPO法人環瀬戸内自然免疫ネットワーク（高松市）に委託して実施。今年3月、研究成果をまとめた論文が日本農芸化学会の大会ホームページに掲載された。

池田薬草は、試験に使用したカプセル剤と同量のスタチ果皮エキスの粉末を含む錠剤サプリメント「スタチチン」を2月に発売しており、年内に機能性食品の認可申請を行う予定。堤講師は「長期的に摂取すると、メタボリックシンドロームの予防効果が期待できる」、池田薬草の三浦宏之社長は「スタチ果皮は多くが廃棄されている。有効活用できると、スタチを産業とする徳島にとって意味が大きい。販路を広げていきたい」としている。

（佐藤陽香）

注）徳島新聞社より提供